

◆離島活性化交付金等事業計画に記載された事業等のうち、令和5年度に実施するもの

都道府県名	対象指定地域数: 6 地域	日生諸島(大多府島、鴻島) 前島(前島) 犬島(犬島) 石島(石島) 児島諸島(松島、六口島) 笠岡諸島(高島、白石島、北木島、真鍋島、小飛島、大飛島、六島)
岡山県	対象離島数: 14 島	

対象指定地域	対象離島	市町村	計画期間	目標	離島振興対策実施地域の活性化に資する事業等で政令で定めるものに関する事項		
					政令で定める事業等 (別紙1参照)	離島振興計画に基づく事業等の内容	うち、令和5年度に実施する事業等の内容
日生諸島	大多府島 鴻島	備前市	5年 (R5～R9)	<p>本県の離島地域は、瀬戸内海の豊かな景観や自然環境、独特の伝統・文化等を有する貴重な財産であるが、観光客数は年々減少傾向にあり、その伝統文化や産業についても、担い手不足等の課題を抱えている。</p> <p>このため、県内の小中学生を対象に、離島地域に対する関心や理解を高め、将来の離島振興を担う人材を育成することを目的として、離島地域の自然、伝統、文化等を体験する機会を提供する。</p> <p>また、体験を通じて小中学生が発見した離島地域の魅力について、県が情報発信を行うことで、さらなる交流人口の拡大を図る。</p>	H	<p>県内の小中学生が離島に滞在しながら、島の自然や文化、産業を体験し、また島に暮らす人々と触れ合う体験学習を通じて小中学生目線で発見した離島の将来のありかたを提案してもらい、その提案を離島の受入団体等と共有する事業。</p> <p>岡山県離島振興計画では、「交流人口の拡大」を重点施策の一つに位置付けており、計画のIV「地域の課題と振興の方向」の(11)交流人口の拡大において、離島の恵まれた地域資源を活用し、他地域や離島地域相互間の人々との交流の促進に努め、交流人口の拡大を図ることとしている。また、(13)人材の確保・育成においては、自主的に島づくりに携わる人材の育成を行うこととしている。</p>	<p>①県内の小中学生を対象に、離島の伝統・文化・産業に触れる体験学習を実施。</p> <p>②参加者は、体験学習を通じて発見した離島の魅力を生かす方法や地域の将来のあり方について自ら考え、離島地域に対する提案を作成する。</p> <p>③小中学生からの提案は、関係する市、地域住民、地域おこし協力隊、NPO、大学等と共有し、具体化に向けた検討を行うことで、離島の地域づくりに生かす。</p> <p>④県は、③の内容について、HPや県政広報番組等を通じて情報発信を行うほか、小中学生が発見した離島の魅力について、その内容をとりまとめ、WEB上においてPRを行い、さらなる交流人口の拡大に繋げる。</p>
前島	前島	瀬戸内市	5年 (R5～R9)	<p>本県の離島地域は、瀬戸内海の豊かな景観や自然環境、独特の伝統・文化等を有する貴重な財産であるが、観光客数は年々減少傾向にあり、その伝統文化や産業についても、担い手不足等の課題を抱えている。</p> <p>このため、県内の小中学生を対象に、離島地域に対する関心や理解を高め、将来の離島振興を担う人材を育成することを目的として、離島地域の自然、伝統、文化等を体験する機会を提供する。</p> <p>また、体験を通じて小中学生が発見した離島地域の魅力について、県が情報発信を行うことで、さらなる交流人口の拡大を図る。</p>	H	<p>県内の小中学生が離島に滞在しながら、島の自然や文化、産業を体験し、また島に暮らす人々と触れ合う体験学習を通じて小中学生目線で発見した離島の将来のありかたを提案してもらい、その提案を離島の受入団体等と共有する事業。</p> <p>岡山県離島振興計画では、「交流人口の拡大」を重点施策の一つに位置付けており、計画のIV「地域の課題と振興の方向」の(11)交流人口の拡大において、離島の恵まれた地域資源を活用し、他地域や離島地域相互間の人々との交流の促進に努め、交流人口の拡大を図ることとしている。また、(13)人材の確保・育成においては、自主的に島づくりに携わる人材の育成を行うこととしている。</p>	<p>①県内の小中学生を対象に、離島の伝統・文化・産業に触れる体験学習を実施。</p> <p>②参加者は、体験学習を通じて発見した離島の魅力を生かす方法や地域の将来のあり方について自ら考え、離島地域に対する提案を作成する。</p> <p>③小中学生からの提案は、関係する市、地域住民、地域おこし協力隊、NPO、大学等と共有し、具体化に向けた検討を行うことで、離島の地域づくりに生かす。</p> <p>④県は、③の内容について、HPや県政広報番組等を通じて情報発信を行うほか、小中学生が発見した離島の魅力について、その内容をとりまとめ、WEB上においてPRを行い、さらなる交流人口の拡大に繋げる。</p>
犬島	犬島	岡山市	5年 (R5～R9)	<p>本県の離島地域は、瀬戸内海の豊かな景観や自然環境、独特の伝統・文化等を有する貴重な財産であるが、観光客数は年々減少傾向にあり、その伝統文化や産業についても、担い手不足等の課題を抱えている。</p> <p>このため、県内の小中学生を対象に、離島地域に対する関心や理解を高め、将来の離島振興を担う人材を育成することを目的として、離島地域の自然、伝統、文化等を体験する機会を提供する。</p> <p>また、体験を通じて小中学生が発見した離島地域の魅力について、県が情報発信を行うことで、さらなる交流人口の拡大を図る。</p>	H	<p>県内の小中学生が離島に滞在しながら、島の自然や文化、産業を体験し、また島に暮らす人々と触れ合う体験学習を通じて小中学生目線で発見した離島の将来のありかたを提案してもらい、その提案を離島の受入団体等と共有する事業。</p> <p>岡山県離島振興計画では、「交流人口の拡大」を重点施策の一つに位置付けており、計画のIV「地域の課題と振興の方向」の(11)交流人口の拡大において、離島の恵まれた地域資源を活用し、他地域や離島地域相互間の人々との交流の促進に努め、交流人口の拡大を図ることとしている。また、(13)人材の確保・育成においては、自主的に島づくりに携わる人材の育成を行うこととしている。</p>	<p>①県内の小中学生を対象に、離島の伝統・文化・産業に触れる体験学習を実施。</p> <p>②参加者は、体験学習を通じて発見した離島の魅力を生かす方法や地域の将来のあり方について自ら考え、離島地域に対する提案を作成する。</p> <p>③小中学生からの提案は、関係する市、地域住民、地域おこし協力隊、NPO、大学等と共有し、具体化に向けた検討を行うことで、離島の地域づくりに生かす。</p> <p>④県は、③の内容について、HPや県政広報番組等を通じて情報発信を行うほか、小中学生が発見した離島の魅力について、その内容をとりまとめ、WEB上においてPRを行い、さらなる交流人口の拡大に繋げる。</p>

対象指定地域	対象離島	市町村	計画期間	目標	離島振興対策実施地域の活性化に資する事業等で政令で定めるものに関する事項		
					政令で定める事業等 (別紙1参照)	離島振興計画に基づく事業等の内容	うち、令和5年度に実施する事業等の内容
石島	石島	玉野市	5年 (R5～R9)	<p>本県の離島地域は、瀬戸内海の豊かな景観や自然環境、独特の伝統・文化等を有する貴重な財産であるが、観光客数は年々減少傾向にあり、その伝統文化や産業についても、担い手不足等の課題を抱えている。</p> <p>このため、県内の小中学生を対象に、離島地域に対する関心や理解を高め、将来の離島振興を担う人材を育成することを目的として、離島地域の自然、伝統、文化等を体験する機会を提供する。</p> <p>また、体験を通じて小中学生が発見した離島地域の魅力について、県が情報発信を行うことで、さらなる交流人口の拡大を図る。</p>	H	<p>県内の小中学生が離島に滞在しながら、島の自然や文化、産業を体験し、また島に暮らす人々と触れ合う体験学習を通じて小中学生目線で発見した離島の将来のありかたを提案してもらい、その提案を離島の受入団体等と共有する事業。</p> <p>岡山県離島振興計画では、「交流人口の拡大」を重点施策の一つに位置付けており、計画のIV「地域の課題と振興の方向」の(11)交流人口の拡大において、離島の恵まれた地域資源を活用し、他地域や離島地域相互間の人々との交流の促進に努め、交流人口の拡大を図ることとしている。また、(13)人材の確保・育成においては、自主的に島づくりに携わる人材の育成を行うこととしている。</p>	<p>①県内の小中学生を対象に、離島の伝統・文化・産業に触れる体験学習を実施。</p> <p>②参加者は、体験学習を通じて発見した離島の魅力を生かす方法や地域の将来のあり方について自ら考え、離島地域に対する提案を作成する。</p> <p>③小中学生からの提案は、関係する市、地域住民、地域おこし協力隊、NPO、大学等と共有し、具体化に向けた検討を行うことで、離島の地域づくりに生かす。</p> <p>④県は、③の内容について、HPや県政広報番組等を通じて情報発信を行うほか、小中学生が発見した離島の魅力について、その内容をとりまとめ、WEB上においてPRを行い、さらなる交流人口の拡大に繋げる。</p>
児島諸島	松島 六口島	倉敷市	5年 (R5～R9)	<p>本県の離島地域は、瀬戸内海の豊かな景観や自然環境、独特の伝統・文化等を有する貴重な財産であるが、観光客数は年々減少傾向にあり、その伝統文化や産業についても、担い手不足等の課題を抱えている。</p> <p>このため、県内の小中学生を対象に、離島地域に対する関心や理解を高め、将来の離島振興を担う人材を育成することを目的として、離島地域の自然、伝統、文化等を体験する機会を提供する。</p> <p>また、体験を通じて小中学生が発見した離島地域の魅力について、県が情報発信を行うことで、さらなる交流人口の拡大を図る。</p>	H	<p>県内の小中学生が離島に滞在しながら、島の自然や文化、産業を体験し、また島に暮らす人々と触れ合う体験学習を通じて小中学生目線で発見した離島の将来のありかたを提案してもらい、その提案を離島の受入団体等と共有する事業。</p> <p>岡山県離島振興計画では、「交流人口の拡大」を重点施策の一つに位置付けており、計画のIV「地域の課題と振興の方向」の(11)交流人口の拡大において、離島の恵まれた地域資源を活用し、他地域や離島地域相互間の人々との交流の促進に努め、交流人口の拡大を図ることとしている。また、(13)人材の確保・育成においては、自主的に島づくりに携わる人材の育成を行うこととしている。</p>	<p>①県内の小中学生を対象に、離島の伝統・文化・産業に触れる体験学習を実施。</p> <p>②参加者は、体験学習を通じて発見した離島の魅力を生かす方法や地域の将来のあり方について自ら考え、離島地域に対する提案を作成する。</p> <p>③小中学生からの提案は、関係する市、地域住民、地域おこし協力隊、NPO、大学等と共有し、具体化に向けた検討を行うことで、離島の地域づくりに生かす。</p> <p>④県は、③の内容について、HPや県政広報番組等を通じて情報発信を行うほか、小中学生が発見した離島の魅力について、その内容をとりまとめ、WEB上においてPRを行い、さらなる交流人口の拡大に繋げる。</p>
笠岡諸島	高島 白石島 北木島 真鍋島 小飛島 大飛島 六島	笠岡市	5年 (R5～R9)	<p>笠岡諸島地域全体として、交流の促進、定住者の増加、医療環境及び教育環境の向上を目指し、少子高齢化対策に係る妊婦への支援や高等学校に通学する生徒の保護者等の支援を行い、島民が安心して子育てを行い、住みつづけることができる笠岡諸島を創造する。</p>	F	<p>離島居住妊婦の交通費等支援に関する事業 (【離島振興計画】島外の医療機関へ通院する際の交通費等について、妊婦に対して助成を行うことで、島という地理的制約の解消に努める。)</p>	<p>島外の医療機関へ通院する際の交通費等について、妊婦に対して助成を行う。</p>
				<p>本県の離島地域は、瀬戸内海の豊かな景観や自然環境、独特の伝統・文化等を有する貴重な財産であるが、観光客数は年々減少傾向にあり、その伝統文化や産業についても、担い手不足等の課題を抱えている。</p> <p>このため、県内の小中学生を対象に、離島地域に対する関心や理解を高め、将来の離島振興を担う人材を育成することを目的として、離島地域の自然、伝統、文化等を体験する機会を提供する。</p>	G	<p>笠岡諸島から、高等学校に通学する生徒の保護者等の経済的負担を軽減し、島に住む生徒の修学の機会を確保を図る事業 (【離島振興計画】島しょ部から陸地部の高等学校に通学する生徒について、生徒の通学等に係る費用等を助成し、また、小・中学生について、課外活動に関する船賃を助成し、それぞれ保護者の経済的負担の軽減に取り組む。)</p>	<p>島しょ部から陸地部の高等学校に通学する生徒について、生徒の通学等に係る費用等を助成する。</p>
				<p>このため、県内の小中学生を対象に、離島地域に対する関心や理解を高め、将来の離島振興を担う人材を育成することを目的として、離島地域の自然、伝統、文化等を体験する機会を提供する。</p> <p>また、体験を通じて小中学生が発見した離島地域の魅力について、県が情報発信を行うことで、さらなる交流人口の拡大を図る。</p>	H	<p>県内の小中学生が離島に滞在しながら、島の自然や文化、産業を体験し、また島に暮らす人々と触れ合う体験学習を通じて小中学生目線で発見した離島の将来のありかたを提案してもらい、その提案を離島の受入団体等と共有する事業。</p> <p>岡山県離島振興計画では、「交流人口の拡大」を重点施策の一つに位置付けており、計画のIV「地域の課題と振興の方向」の(11)交流人口の拡大において、離島の恵まれた地域資源を活用し、他地域や離島地域相互間の人々との交流の促進に努め、交流人口の拡大を図ることとしている。また、(13)人材の確保・育成においては、自主的に島づくりに携わる人材の育成を行うこととしている。</p>	<p>①県内の小中学生を対象に、離島の伝統・文化・産業に触れる体験学習を実施。</p> <p>②参加者は、体験学習を通じて発見した離島の魅力を生かす方法や地域の将来のあり方について自ら考え、離島地域に対する提案を作成する。</p> <p>③小中学生からの提案は、関係する市、地域住民、地域おこし協力隊、NPO、大学等と共有し、具体化に向けた検討を行うことで、離島の地域づくりに生かす。</p> <p>④県は、③の内容について、HPや県政広報番組等を通じて情報発信を行うほか、小中学生が発見した離島の魅力について、その内容をとりまとめ、WEB上においてPRを行い、さらなる交流人口の拡大に繋げる。</p>